

2012年4月吉日

2012年度統計関連学会連合大会について（第二報）

2012年度統計関連学会連合大会

運営委員会委員長 瀬尾 隆（東京理科大学）
実行委員会委員長 水田正弘（北海道大学）
プログラム委員会委員長 宿久 洋（同志社大学）

今回で11回目になる2012年度統計関連学会連合大会について進捗状況をご報告いたします。今大会も統計関連学会連合に属する全ての学会の共催により開催する運びとなりました。本大会の第1日目（9月9日（日））はチュートリアルセッションと市民講演会を、北海道庁と北海道大学植物園の間にある「かでの2・7」で開催いたします。一般講演などは2日目以降（9月10～12日）、JR札幌駅の北側に広がる北海道大学札幌キャンパスの高等教育推進機構で開催します。懇親会は、例年より1日早い、9月10日（月）の夕方にサッポロビール園で行います。ジンギスカンはもちろん、タラバガニ・ズワイガニ、お寿司、その他約20品目食べ放題、飲み放題となっております。

この第二報では、チュートリアルセッション、市民講演会、企画セッション、コンペセッションなどの概要などを項目ごとにご紹介いたします。今後、連合大会のウェブページ

<http://www.jfssa.jp/taikai/2012/>

に関連情報や詳細情報を随時掲載していきますので、ご覧ください。

1. 大会日程、開催場所、各種受付期間

開催日程：9月 9日（日）から12日（水）までの4日間

9月 9日：チュートリアルセッションと市民講演会（かでの2・7、札幌市中央区）

9月10日～12日：本大会（北海道大学 高等教育推進機構、札幌市北区）

共催：応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、
日本統計学会、日本分類学会

懇親会：9月10日（月）18:00～（予定）、サッポロビール園

講演申込：5月 8日（火）9:00～6月 5日（火）17:00

原稿提出：6月12日（火）9:00～7月10日（火）17:00

事前参加申込：7月18日（水）9:00～8月21日（火）17:00

2. 講演の申込

講演には次の種類があります。

- ・一般講演
- ・企画セッション講演
- ・コンペティション講演

申込み方法は、すべての講演に共通の事項と種類ごとに異なる事項がありますので、ご注意ください。

(1) すべての講演に共通な事項

講演をご希望の方は、上記ウェブページからお申込み下さい。これ以外の申込み方法はありませぬ。ウェブページ上で、「一般講演」、「企画セッション講演」、「コンペティション講演」のいずれかを選択して下さい。原則として、講演者が申込んで下さい。ただし、「企画セッション講演」については、オーガナイザーが申込んで下さい。

(2) 「一般講演」に関わる事項

通常の講演は「一般講演」として講演者がお申込み下さい。ウェブページ上の講演申込み手順にしたがって申込みをして下さい。プログラム編成の際の参考にしますので、最大3個までのキーワードを、重視する順にご選択ください。また、講演者（連名講演者を含む）のうち、少なくとも1名は共催6学会のいずれかの会員であることが要件です。

(3) 「企画セッション講演」に関わる事項

各セッションのオーガナイザーが、セッション内の講演全件を申込みください。

(4) 「コンペティション講演」に関わる事項

コンペティション講演は、研究内容とプレゼンテーションの能力を競う企画で、今回で10回目を迎えます。参加有資格者は a) 講演時に学部学生や修士学生である方（社会人学生を含みます。年齢は問いません。）、あるいは b) 2012年4月1日時点で満30歳未満の若手研究者です。連名講演の場合、コンペティション対象者は実際に口頭発表する方で、講演の申し込み時点で共催6学会のいずれかの会員である必要があります。ただし、申し込みと同時に入会手続きをされてもかまいません。審査に関する詳細は検討中です。詳細については連合大会のウェブページに掲載される「コンペティション講演のご案内」をご覧ください。なお、コンペセッションは9月10日、11日に実施し、表彰式を9月11日の夕刻に行う予定です。

3. 講演報告集用原稿の提出

報告集用の原稿はA4サイズで1ページです。インターネット経由で電子ファイル（PDF形式）を提出していただきます。「1. 大会日程、開催場所、各種受付期間」を参照の上、原稿提出期間を厳守してください。ご希望の方は、報告集用原稿とは別に、ウェブページに掲載する詳細論文を受け付けます（A4サイズ、最大10ページまで、PDF形式、ファイルサイズは1MB以内、フォント埋め込み）。論文ファイルをメールによりプログラム委員会宛

submission2012@jfssa.jp

にお送り下さい。報告集用原稿および詳細論文の執筆要領につきましては、連合大会ウェブページ (<http://www.jfssa.jp/taikai/2012/>) をご覧下さい。

「企画セッション講演」の報告集用原稿はオーガナイザーが集約してご提出下さい。したがって、企画セッション講演者は、最終的な原稿提出が締切に間に合いますようにオーガナイザーに原稿をお送り下さい。

講演報告集は大会当日にお渡しします。

【注意】報告集は、本大会ウェブページにて期間限定で公開予定です。公開を希望しない場合には、報告集用原稿の提出時に、その旨をご指示ください。

4. 企画セッションのご案内

学会や個人から申請のあった 21 件の企画セッションが予定されております。テーマ(仮題)とオーガナイザーの氏名、所属は以下の通りです。テーマのねらいや講演者・講演タイトル等につきましては連合大会のウェブページをご覧下さい。

なお、企画セッションの運営はオーガナイザーに一任しておりますので、企画セッションについてのご質問がございましたら、直接オーガナイザーにお問い合わせ下さい。企画セッションの日程はプログラム作成時に決定いたします。

企画セッション名とオーガナイザー (敬称略)

- 1) 量子統計：理論的な進展と物理実験への応用 田中冬彦 (東京大学)
- 2) ミクロデータの二次利用 その仕組みと研究活用事例 渡辺美智子 (慶應義塾大学)
- 3) 日本統計学会各賞受賞者講演 岩崎 学 (成蹊大学)
- 4) 統計学初級中級講座「マルチレベル解析と繰り返し測定データの解析」 岩崎 学 (成蹊大学)
- 5) 医薬データの統計解析 石橋雄一 ((株) スタットラボ)・水田正弘 (北海道大学)
- 6) データ分析の理論と応用 栗原考次 (岡山大学)
- 7) JSS-KSS-CSA International Session I: Analysis of data with correlated error
Jinfang Wang (Chiba University, Japan), Taesung Park (Seoul National University) and
Ming-Yen Cheng (National Taiwan University)
- 8) JSS-KSS-CSA International Session II: Inference for high dimensional data
Jinfang Wang (Chiba University, Japan), Taesung Park (Seoul National University) and
Ming-Yen Cheng (National Taiwan University)
- 9) JSS-KSS-CSA International Session III: Computational statistics
Jinfang Wang (Chiba University, Japan), Taesung Park (Seoul National University) and
Ming-Yen Cheng (National Taiwan University)
- 10) 資金循環統計～拡充の成果と課題 櫻庭千尋 (日本銀行)
- 11) クラウドコンピューティングと大規模データ処理 棟朝雅晴 (北海道大学)・水田正弘 (北海道大学)

- 1 2) 金融のリスク管理 三浦良造 (一橋大学)
- 1 3) 高等学校の統計教育の改革と大学入試での取り組み 藤井良宜 (宮崎大学)
- 1 4) 教養教育における統計教育とその評価方法 藤井良宜 (宮崎大学)
- 1 5) ファイナンス統計学における漸近的方法とその実装 吉田朋広 (東京大学)
- 1 6) 日本計量生物学会奨励賞受賞者講演 手良向 聡 (京都大学)
- 1 7) 日本計量生物学会シンポジウム 和泉志津恵 (大分大学)
- 1 8) スポーツと統計科学の融合 酒折文武 (中央大学)・田村義保 (統計数理研究所)
- 1 9) 応用統計学会 学会賞受賞者講演 黒木学 (統計数理研究所), 永田 靖 (早稲田大)
- 2 0) 非対称分布の統計学の理論と実際 清水邦夫 (慶應義塾大学)
- 2 1) 確率微分方程式モデルの統計解析 内田雅之 (大阪大学)

5. 大会特別セッションのご案内

統計関連学会連合では、東日本大震災後 2011 年 6 月に連合各学会の評議員、理事などに呼びかけて、放射線の影響などについてのヒアリングを行いました。また、2011 年度統計関連学会連合特別セッションでもその種の問題についての討論を重ねてきたところです。

本年度は福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質に話題を絞り込み、放出から健康影響に至るまでの経路、現在も続く放射線被ばくについて、専門家を招待し俯瞰することで、今後統計家としてなすべきことが何かを考えるための特別セッションを企画します。

セッションタイトル：福島第一原子力発電所事故の放射能影響に関するデータに基づく俯瞰

セッションオーガナイザー：椿 広計 (統計数理研究所)

セッション概要：本セッションでは、①福島第一原発から放出された放射性物質がどの程度あったのか、②どのように大気中に拡散し、土壌・海上に沈降したのか、③そして人々はどのような暴露を受けた、あるいは受けつつあるのか、④そしてその健康影響はどのようなものであるかをそれぞれの分野の専門家に紹介いただき、この問題に関する今後の統計関連学会連合の取り組みについて議論を進めたい。

6. チュートリアルセッションのご案内

下記の 2 つのテーマでチュートリアルセッションを開催いたします。2 つの会場で並行して開催しますので、どちらかをお選びください。参加費については「8. 参加申込と大会参加費」をご覧ください。

日時：2012 年 9 月 9 日(日)13:00~16:00 (一部~18:00) (12:30 より受付開始予定)

場所：かでの 2・7 (札幌市中央区)

テーマ A：「主成分分析の行列的基礎と非計量・三相配列・因子分析への発展」

講演者：足立浩平 先生 (大阪大学)

時間：13:00~16:00 (3時間)

開催趣旨：このセミナーは、主成分分析 (PCA) の基礎を導入するパート [1] と、PCA の三方向への拡張を解説するパート [2], [3], [4] から構成される。以下に、[1]~[4] の概要を記す。[1] PCA の

種々の定式化の中でも、特異値分解によるデータ行列の最小二乗近似としての定式化を中心に、PCAを解説する。[2] 非計量PCAと、それを拡張した多重対応分析を取り上げる。これらの手法は、多変量カテゴリカルデータのカテゴリーを数量化しながら、データ行列の近似を行うPCAと定式化できる。[3] 条件×個体×反応といった三相配列データを分解近似するための三相PCAを解説する。三相PCAの個別手法として、Tucker2、Tucker3、および、Parafacが知られ、これらには階層関係がある。[4] 因子分析(FA)は、PCAに「似て非なる方法」といえるが、近年開発されてPCAとの関係が明瞭であるデータフィッティングFAを紹介しながら、FAとPCAの類似・相違も考察する。以上の[1]～[4]において、統計的推論の側面は他書に譲られ、線形代数の行列表現に基づく各種手法の定式化が強調される。

テーマB：「テキストマイニングの活用」

講演者：八木征子 先生（数理システム株式会社）、神田晴彦 先生（株式会社野村総合研究所）
保田明夫 先生（富士通エフ・アイ・ビー・システムズ株式会社）

時間：13:00～18:00（5時間）

開催趣旨：本チュートリアルでは「テキストマイニングの活用」と題し、実際に参加者にソフトウェアを操作していただきながらチュートリアルをおこなう。現在、Web アンケート回答データ、商品の評価・評判に関するデータ、電子カルテデータ、小論文・論述課題における回答データ等、非常に多くのテキストデータがそれぞれの環境において保存されている。しかしながら、現場においてテキストデータを保持しつつも、それらを積極的・効果的に活用する環境が整っていることは希である。テキストマイニングにおいては、理論的な背景はもとより、データをマクロ的かつミクロ的に見るような作業が重要な役割を持っている。そのため、テキストマイニングをおこなう際には、データを効果的に集約しつつ元のデータに戻ってその内容を詳細に理解することができるようなソフトウェアの活用は不可避である。そのため、本チュートリアルにおいては先進的なソフトウェアを提供し続ける3社の講演者にお越しいただき、チュートリアルをお願いする。

7. 市民講演会のご案内

下記の2つのテーマで市民講演会を開催いたします。参加費は無料です。

テーマ1：「統計検定：出題傾向と結果分析」

講演者：岩崎 学 先生・吉田清隆 先生（成蹊大学）

時間：16:30～17:15（45分）

概要：2011年11月20日（日）、第1回目の「統計検定」が、2級、3級、4級、統計調査士、専門統計調査士の5種類の試験種目で実施されました。統計検定は、昨今国際的にも益々その重要性を高めている「データに基づいて客観的に判断し、科学的に問題解決する能力」を、中高生、大学生および職業人の各レベルに応じて評価する全国统一試験です。また、検定を通じて、中学や高校および大学で何をどう学んだらよいかのカリキュラムの指針を与えること

も目的としています。

本講演では、2011年11月の検定および2012年5月実施の英国王立統計学会（RSS）との共同認定である国際資格試験の結果を分析し、現在の日本における「統計力」の現在を探ります。またそれを踏まえ、今後どのような力を身に着ける必要があるか、あるいは逆にどういいう教育を行わなければならないのかについても、幅広くかつ分かりやすく解説します。2012年11月18日（日）には、上で述べた5種類に加え「統計検定1級」も実施されますので、これらの試験に対する対策もお話しします。

テーマ2：「新薬の開発に統計学はどのように利用されているのか」

講演者：大森 崇 先生（同志社大学）、安藤友紀 先生（医薬品医療機器総合機構）

時間：17:15～18:00（45分）

概要：医薬品は私達が病気になったときに、その治療のために用いられる化学物質である。別の言い方をすると、化学物質の中で治療に用いられるもの、ともいえる。医薬品を使用する際に期待することは、それを服用することによる良い作用としての効果である。このため新たに医薬品が開発される場合、その化学物質がどのような効果を持つのか評価することが必要となる。

高度な科学技術が発達した現在であっても、必ずしも医薬品の服用により誰もがみな同じ反応を得られるわけではない。複雑な生体に対して、多くの要因の影響により、医薬品としての化学物質がうまく働く場合もあり、そうでない場合もある。また、その効果を実感できない場合があることも医薬品の特徴の一つであろう。

そうした化学物質の評価を行うためには、患者の集団から得られたデータを利用し、それに対して統計学的な考え方を適切に用いることが必要になる。現在、新たに開発される医薬品の評価に統計学の利用は欠かせないものになっている。この講演では、新しい医薬品が開発される際にどのように統計学が利用されているのかについてお話ししたい。

8. 参加申込と大会参加費

当日受付の混雑を緩和するため、ウェブページからの事前申込にご協力ください。受付期間については「1. 大会日程、開催場所、各種受付期間」を参照してください。事前申し込みの場合、参加費が大幅に割引になりますのでぜひご利用ください。

大会参加費（報告集代を含む）事前申し込み当日受付

	事前申し込み	当日受付
会員（共催6学会の会員）	7,000円	9,000円
学生（会員・非会員を問わず）	3,000円	7,000円
学生以外の非会員	13,000円	16,000円

チュートリアルセッション参加費（資料代を含む）

	事前申し込み	当日受付
会員（共催6学会の会員）	3,000円	4,000円

学生（会員・非会員を問わず）	2,000 円	4,000 円
学生以外の非会員	5,500 円	7,000 円

懇親会参加費

	事前申し込み	当日受付
一般（会員・非会員を問わず）	5,500 円	6,500 円
学生（会員・非会員を問わず）	4,000 円	5,000 円

【注意】

1. これまでの大会と同様に、事前申込のキャンセルと変更は認めません。大会に参加されなかった場合、報告集などの資料を後日送付いたします。
2. 市民講演会は無料です。
3. 共催6学会の会員以外の方が、企画セッションや特別セッションでオーガナイザーから依頼されて講演される場合、大会参加費は無料となります。

9. 宿泊・アクセス案内

今大会では宿泊の斡旋はいたしません。チュートリアルセッションと市民講演会が開催される「かでの2・7」へは JR 札幌駅から徒歩12分、地下鉄さっぽろ駅から徒歩7分、地下鉄大通駅から徒歩9分です。「北海道大学高等教育推進機構」へは、地下鉄南北線北18条駅から徒歩数分です。

JR 札幌駅・地下鉄さっぽろ駅、大通駅、すすきの駅など、地下鉄南北線で数駅の場所に多くの宿泊施設があります。北18条駅近辺にも宿泊施設が少しあります。

9月の札幌は、天気が良ければ観光に最適な時期です。詳しくは、札幌市の公式観光サイト (<http://www.welcome.city.sapporo.jp/>) 等をご覧ください。